

トップメッセージ

独創の技術で新たな価値を創造する
真のグローバルカンパニーとして
持続可能な社会の未来に
貢献してまいります

代表取締役社長 前田和夫



事業環境

激変する市場環境を捉え「成長の機会」に

事業を取り巻く環境は、2022年に入ってもいまだ収束をみせない新型コロナウイルス感染症（以下、コロナ）をはじめ、ロシアによるウクライナ侵攻、世界的なインフレに円安進行等、目まぐるしく変動し、市場のみならず私たちの生活にもさまざまな影響を引き起こしています。

コロナ禍で一部影響はあったものの、当社は万全の調達ルートを確認し、生産活動への影響を最小限にしてきました。一方で、ロシアによるウクライナ侵攻は石油・天然ガス等エネルギー資源の逼迫など、先行き不透明な情勢を招き、生産・販売コストなど当社の事業運営にも少なからぬ影響を及ぼす恐れがあります。

そういったなかでも、当社のサービス、製品品質が変わらずお客様に納得いただけるように、これまで以上に顧客対応力を高めて信頼を積み重ねてまいります。また中長期的には、研究開発およびマーケティング活動によって顧客の利益を生みながら当社の利益にもつなげていくwin-winの関係で競争力を向上させてまいります。

当社グループはグローバル企業として、そうしたさまざまな環境変化をバネに臨機応変に動き、リスクを機会に変える力があると信じています。円安の場合にしても、日本由来のコストに関しては競争力のほうに働きますし、海外の売上や資産に関しては円建てにした場合、高く評価されるなど良い面はたくさんあります。このようにグループで、ものごとが平準化されるという側面もあるため、

多少急な変化にも一喜一憂することなく、グローバル企業として俯瞰的かつ迅速に動くことで新たな成長につながると確信しています。

中期経営計画

2030年ビジョン策定にあたって

世界規模で社会が一変するような、この激動の時代にあって当社が成長を続け、社会の豊かさにご貢献できるのかを考えたときに、当社の根幹である「創造と変革」をいま一度、見つめなおす必要があるのではないかと考えます。当社は社会のデジタル化の進展とともに、電子基板製造用の薬品を開発・製造・販売するメーカーとして独創的な「界面価値創造技術」を強みに業界のリーディング

カンパニーの地歩を築いてまいりました。近年ではIoTやAIの進化とともに成長してきましたが、昨年はコロナの影響でリモートワークやオンライン授業が普及し、パソコンやディスプレイの需要が増加しました。さらにDX（デジタルトランスフォーメーション）や5Gが普及しつつあるなかで、当社の技術、製品サービスが活きる場もまた拡大しています。

2021年度を振り返ると、このような外部環境の変化に合わせて、高速化、高性能化に対応した高密度電子基板向け製品の開発、販売に注力しました。主力製品の超粗化系密着向上剤「CZシリーズ」は、世界中のパッケージ基板メーカーで採用されており、5Gの普及でデータ通信量が増加し、これによるサーバーや基地局向けパッケージ基板の需要増加などが成長の追い風となっています。

またディスプレイに使われる「EXEシリーズ」や、主に自動車やスマートフォン向け多層電子基板の密着向上剤として使用される「V-Bondシリーズ」も堅調に推移しました。その結果、2021年度の売上高は150億38百万円(前期比25.8%増)、営業利益は39億39百万円(同66.2%増)となり、いずれも過去最高の業績を達成しました。

2030年に目指す姿とその実現に向けて

当社は今年2月に『2030年ビジョン Phase1』中期経営計画(2022-2024)を発表しました。2030年に目指す姿に向け、3か年中期経営計画を3期にかけて着実に進め、持続的成長と企業価値の最大化を図ってまいります。

私たちの目指す企業像は、①独創の技術で新たな価値を創造する真のグローバルカンパニーになる、②研究開発型企業であり続ける、③独創のAI企業としての顔をもつ、という3つです。

当社の強みである「独創の技術」は、言葉を変えらば「クセのある技術」ということです。クセは個性と言い換えてもいいかもしれません。簡単に真似ができない、当社ならではの技術でお客様の課題を解決し、お客様と当社が利益を生み出して業界全体が進んでいくことで社会に持続可能な豊かさをもたらす未来を目指しています。

当社の技術は、高性能化、小型化・薄型化する電子機器の基板に広く使われてきました。今後は5G、DXの進展・脱炭素などの社会的動向を背景にデータ量の増加・通信の高速化がさらに促進されます。次世代データセンター、自動運転や電気自動車など、半導体を搭載するパッケージ基板需要の成長が見込まれます。これまで培ってきた技術を磨き、応用展開する、さらに独創技術をAIと掛け合わせることで新たな価値を創造する。それが2030年に

向けての成長戦略です。そのために毎年、連結売上高の約10%を研究開発に投資していく計画です。

成長戦略 人事戦略と組織戦略

持続可能で豊かな社会の実現のため、当社は『2030年ビジョン Phase1』において人財開発分野とESG分野に注力していきます。人的資本マネジメントによる人事戦略を実行し、短期・中期・長期的視点で経営に資する人的価値の創出を行っていきます。

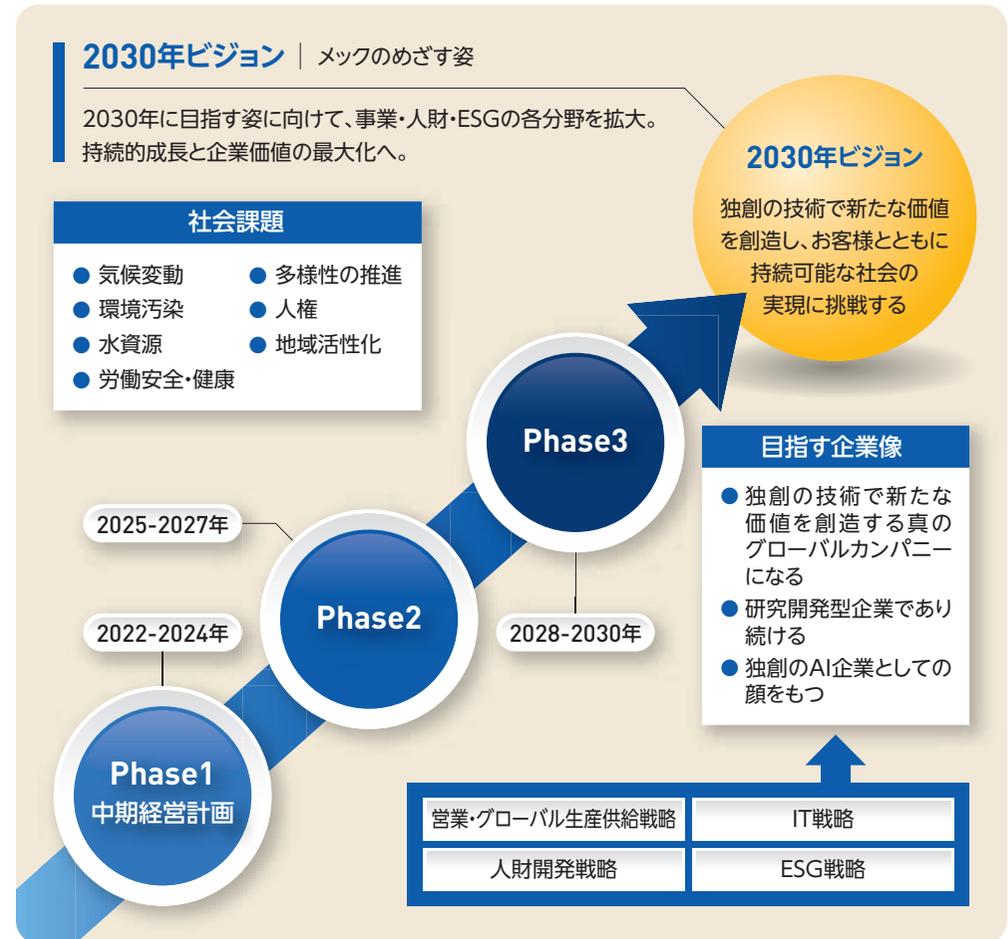
人財は最も大切な会社の財産です。

当社の成長力を継続的に深化させる源は多様な人財の活用であり、人財価値向上が企業価値向上であると認識しています。その意味で人的資本マネジメントは成長戦略の柱です。技術分野だけでなく、製品の営業や販売、マーケティングなどあらゆる事業分野での人財の掘り起こし・スキルアップにつながる取り組みを行ってまいります。理想の人財像は「自律自走し、連帯できる」です。そうした人財が集まることで、当社の理念である「独創の技術で新たな価値を創造する真のグローバルカンパニー」が実現すると考えます。

また人財戦略を推進する組織戦略として、組織(人事)が役割に応じた優秀な人財の確保・配置を行い、十分に活躍できる環境を整えるよう戦略人事部門を立ち上げるとともに、人財への投資も積極的に行ってまいります。まだ走り出したばかりですが、「クセのある技術」を生み出すためのスキルアップや顧客対応力のある人財、さらにグローバルで活躍する人財を育成するために階層別・職種別の教育・研修制度をさらに充実させていきます。また今期から従業員の動きがいに繋がることを願い、報酬制度を見直しました。

私たちの社是は「仕事を楽しむ」です。人生で長い時間を費やす仕事を、自分ごととして真剣に、かつ精一杯楽しんで取り組むことで、その成果が人々の豊かさや持続可能な社会に役立っていくのであればこんなに素晴らしいことはありません。そのためにワークライフバランスを見据えた多様な働き方ができる制度と環境を整備しています。一例をあげますと、出産・育児・介護などに関して、独自の休暇

制度や給付制度を設け、安心して働ける環境の整備に努めています。育児休業制度は男女ともに取得していますし、職場への復帰がスムーズに行えるように必要に応じてサポートも行っています。また、従業員満足度調査も毎年実施し、職場環境の改善を図っています。従業員が生き生きと「仕事を楽しむ」ことができる場の実現に会社全体で取り組み、豊かで楽しい社会への貢献を追求してまいります。



持続的成長の基盤となる サステナビリティ経営を推進

ESG分野の取組みについては、事業運営にとって大切な6つのCSRマテリアリティ(重要課題)を策定し、事業に関わるSDGsからの観点を見据えながら進めています。6つの重要課題「未来を切り拓く研究開発」、「適正な調達、生産、物流」、「環境保全」、「品質と安全」、「多様な人財の活用」、「経営基盤の強化」の取組み成果が、お客様の利益や生産性向上にもつながっていくと考えています。また社会課題である環境問題をはじめ信頼の品質、調達や生産・物流は当社だけでなくバリューチェーン全体を視野に入れて取り組んでいかねば

結果を出すことはできません。外部要因が日々大きく変動している今、これらは継続課題として引き続き取り組んでまいる所存です。

当社は化学薬品を扱うメーカーとして、環境課題の解決に貢献することに常に意識を向けてきました。お客様の生産性を上げることで、環境への負荷を下げる環境負荷低減製品の開発に努めています。これからも製品開発や販売を通して、地球課題である気候変動対策や脱炭素社会実現に貢献していきます。定量化していくのは難しいのですが、今後はこのサステナビリティ報告書をはじめ、当社発信資料で順次お伝えしてまいります。

また製品の製造、研究開発過程では多くの水を使います。そこで、水源保護と地域社会貢献のために

長岡工場がある新潟県長岡市、本社がある兵庫県尼崎市で「メックの森づくり」に取り組んでいます。森は二酸化炭素を吸収し温暖化防止にもつながりますし、地域の自治体や住民の方々との交流は、さまざまなご意見をうかがう機会にもなっています。

その他、尼崎事業所は、災害が発生した際に一時避難所として活用していただけるよう、近隣の自治会にお知らせしています。2021年度には実施できませんでしたが、年に1度、近隣の保育園の避難訓練にも協力しています。

2030年ビジョンの最初の3か年計画では、こうした環境負荷低減・環境保全、地域への貢献などに取り組みながら社会と産業全体、お客様の持続可能な発展に寄与してまいります。



ステークホルダーの皆様へ

いまなお社会生活に影響を残すコロナ、今後の最重要課題である地球温暖化など世界規模の課題が山積し、社会が大きく変容していく状況にあります。そのようななかで当社は「2030年ビジョン Phase1」として、中長期的な課題とその取組み施策について発表しました。そこでは、当社の価値の源泉である「挑戦する人財」を育て、社員一人ひとりが自らを変革する熱意と力をもってアイデアを創出することで各事業分野に強いシナジーをつくり、2030年に向けて成長の階段を駆け上げていく当社の姿を描いております。

持続可能な未来はメックグループだけで実現できるものではありません。ステークホルダーの皆様とともにサステナブルな成長を図っていきたくと考えています。これからも、安全で安心、豊かな社会の実現に貢献すべく、皆様の期待と関心にお応えしてまいりますので、変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

経営理念

わたしたちは「独創の技術」「信頼の品質」「万全のサービス」を信条に、自由に着想し、グローバルな事業活動を通して界面価値創造を実現することで豊かで潤いのある社会と環境づくりに貢献します。

社 是

「仕事を楽しむ」

社 訓

- 一、失敗を恐れず常に新しい目標に挑戦しよう
- 一、飽くなき好奇心で工夫改善を重ねよう
- 一、協調と感謝の気持ちで力を合わせ仕事を進めよう
- 一、安全と健康に気を配り楽しい職場を作ろう
- 一、広く社会に役立つことを心掛けよう

■ 理念体系図

